

# EPs TAの第二段階への 動きと活用

2022年11月17日

国連CEFACT観光部会部会長

鈴木耀夫

# UN/CEFACTのT/T Domainとして 第二段階への動き

下記のような作業を行うために第二段階への標準化の展開を検討

1. UN/SDGsの成果(Sustainable Tourism プロジェクトの成果の取り込み)
2. API化への展開
3. 第一段階で開発した情報項目及びコード等の必要な更新
4. 新たな技術への対応

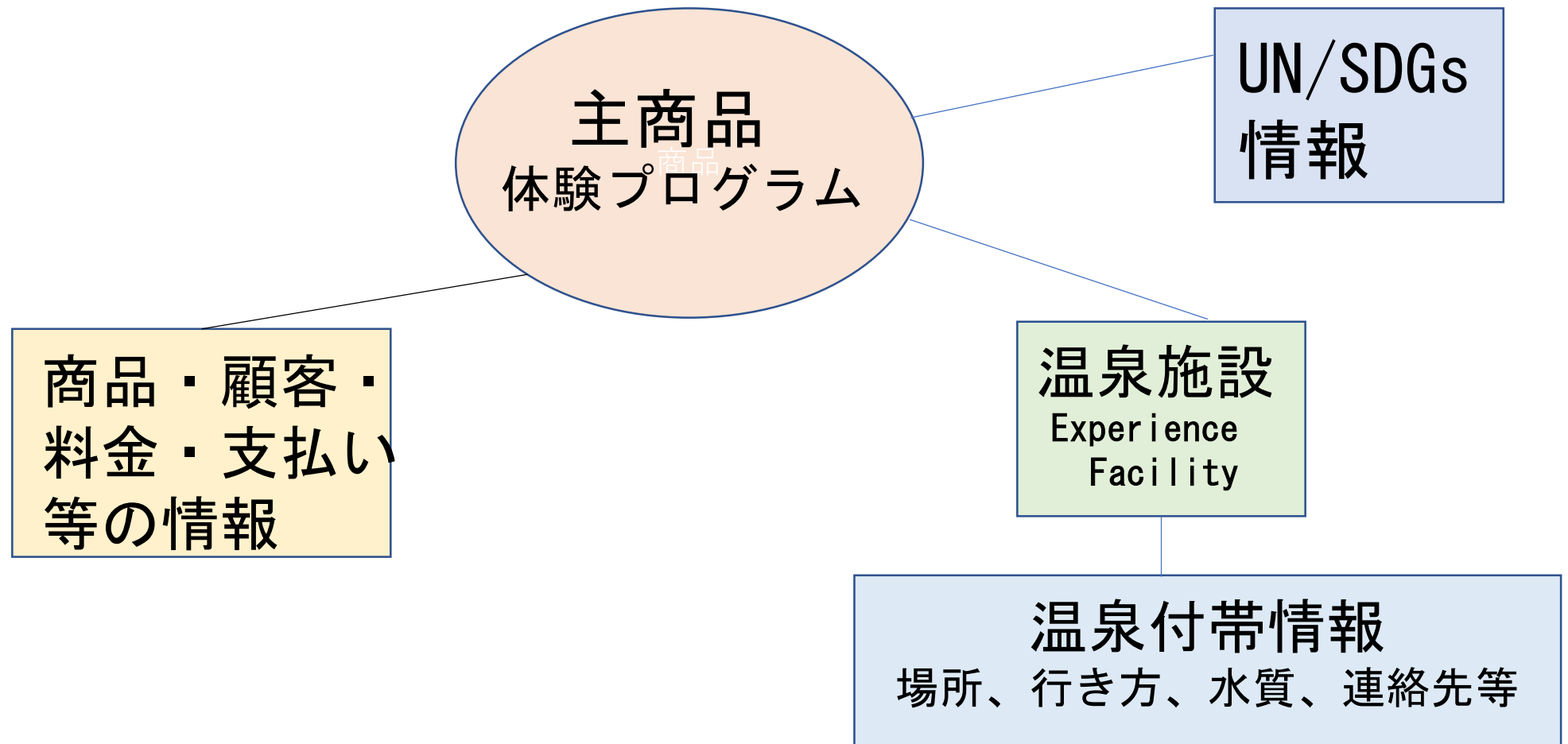
# 成果物の活用への考察

EPs TAを活用する動きの促進

1.国内での動き

2.海外での動き(インド、台湾等)

# 標準化と対象項目（体験プログラムの標準化 一例として温泉に焦点を当てて）



# 温泉 (例示) 主体の標準化と事業展開

観光視点

体験視点



観光の中での温泉の提供

温泉を主とした商品の提供

観光の中の温泉  
宿泊施設の中の温泉



温泉体験プログラム

温泉と健康  
温泉と癒し  
温泉と休養  
温泉と楽しみ  
温泉と歴史・文化  
温泉と自然  
温泉と食事  
温泉と農業  
泉質と温泉 等々

新たな課題の存在 →  
課題(小規模、多数、地域、  
事業資金、IT技術、適した事業推進者  
、等)